

石巻瑞穂会だより

第6号

編集・発行
 千葉商科大学
 同窓会石巻瑞穂会
 発行責任者
 阿部忠允
 発刊日
 平成28年12月1日

千葉商大同窓会石巻瑞穂会会長 阿部 忠允

石巻瑞穂会総会を終えて

平成二十八年五月十四日(土) 六年ぶりに石巻瑞穂会総会を「追悼・再起・がんばっぺ」の主題を掲げ盛大に催すことが出来ました。東日本大震災で、転居した方や未だ仮設住宅に住んでいる方など多く、住所宛先不明で戻って来る案内状が多く、急きよ役員を招集し、会員名簿の確認をしたり手間取りましたが、そろそろ石巻瑞穂会やっぺすの声が多く、二十三名もの参加になり主催者として満足しております。



開会に先立ち、震災で犠牲になられた会員にご冥福を祈り黙祷いたしました。
 大学側からサービスクレジット部長吉田優治先生と学生さん

二名の出席もあり大変和やかな会で、先生にはミニ講演「大学の現状の紹介」のテーマで講演をいただき、先生自ら撮影した動画「大学のキャンパスの状況」には、皆さん状況には、皆さん懐かしさで食い入るように見入っていました。総会会議題は、会則の確認・年会費・秋田中央瑞穂会との交流会・ホームページの更新・石巻瑞穂会だより

より5号発刊等でした。また、商大チアダンスチーム「Gitter's」の演技「GO!石巻」「石巻の先輩たちを元気づけたい」のパフォーマンスには感懐し、感動を与えてくれて有難うの連発でした。先生の講演で印象的だったのは、「学問・企業・活動の三つの学びスパイラル」常にあらゆる分野でコミュニケーションをはかり、実践を重視した教育をなさっていることです。校務多忙な折り、石巻に足を運んでいただき大変感謝いたしております。出席した会員の多くは、被災し全てを失いゼロからのスタートですが、生活の基盤を固め徐々に明るい兆しが見えつつあります。出席した会員には、スポーツ振興で子供達の指導やトリコロール音楽祭の基盤を築いた方、水産業界・地元商店会のまとめ役など、企業経営者や管理職・銀行員OB・現職教職員・教職員OB・市役所OB・商工会議所管理職・市議会議員OB等、石巻の中心的役割を担っている方々で大変頼もしく感じられます。総会や懇親会は四時間にも及び再会を約束し、S50 商卒 木村正樹君(当時の応援団長)のメールで声高らかに校歌を斉唱して会を締めました。



平成28年度千葉商科大学石巻瑞穂会事業計画

自平成28年4月1日～至平成29年3月31日

- H28.4.15 第1回役員会
- 5.14 石巻瑞穂会総会 割烹石もり
- 8 第2回役員会
- 10 秋田中央瑞穂会との交流会
- 11 同窓会宮城県支部総会
- 12.1 石巻瑞穂会だより第6号発刊
- H29.2 第3回役員会

Facebookの開設に当たって 阿部忠允

石巻瑞穂会HPを開設して十年程になりますが、同窓会への関心の低さが感じられます。現在、通信手段として当たり前になっている「スマートフォン」を活用し多くの会員、特に若い会員に日頃の同窓会活動が分かる状況を作りたい思いからFacebookホームページを開設いたしました。反響は凄いと感じております。

また、「石巻瑞穂会だより」第六号は「トリコロール音楽祭」の特集を組みました。



新しい街の風物詩「トリコロール音楽祭」に込められた熱き思い

S50 商卒 田岡 吉人

今年も八月二十八日(日)に開催が迫る『トリコロール音楽祭』2004年から始まったこのイベントは、石巻の街なかに複数の会場を設け、地元を中心に毎年多くのミュージシャンが参加。街のいたるところで生演奏を楽しめる、石巻きっての音楽祭に成長しました。

【立ち上げは、六十年代に青春を送った人々】昔から、音楽好きが多いと言われる石巻。『トリコロール音楽祭』の初代実行委員長で現顧問の田岡吉人さん「石巻に軽音文化が広がったのはおそらく1960年代。駅近くに今もある『クルーザー』というバーの、僕より少し年上のマ

平成28年度 千葉商大同窓会石巻瑞穂会予算

【収入】		△印 減額	
指定コード	項目	本年度予算額	前年度予算額
1001	前年度繰越金	31,544	0
1005	年会費	25,000	0
1004	宮城県支部補助金	30,000	0
1006	収入	10	0
1007	ご祝儀	0	0
	計	86,554	0

【支出】		△印 減額	
指定コード	項目	本年度予算額	前年度予算額
1010	通信費	12,480	0
		2,460	0
		0	0
		1,000	0
1012	消耗品費	2,000	0
		6,000	0
		300	0
1013	金庫発行	2,000	0
1014	役員会	2,080	0
1015	秋田瑞穂会交流会	10,000	0
1017	その他	0	0
1018	予備費	48,234	0
	計	86,554	0

スターが、サーフィンや洋楽などアメリカの文化をいろいろ教えてくれました。僕らはアイビーファッションに身を包み、その店に出入りして、音楽を聴くのがステイタスだった。



当時、青春時代を送った人々は、今や60〜70代。石巻の街が活気にあふれ、もつとも豊かだった時代を知る世代でもある。

【街の活気をもう一度】学生時代はバンド活動に明け暮れたが、卒業後は音楽から遠ざかっていたという。

再びギターを手にしたのは、四十代。PTA活動で父兄や教師たちとひよんなことからバンドを組むことになり、全国的にも有名な『定禅寺ストリートジャズフェスティバル』『仙台』に参加するようになった。これがのちに、石巻でも同じようなスタイルで音楽祭を立ち上げるきっかけとなった。「石巻の街なかの繁栄は、1980年代から1990年代がピークでした。その後、郊外に大型ショッピングモールなどが進出してきて、みるみる衰退。子ども心に好きだった商店街の街並みが、シャッター通りと呼ばれるようになってし

まったのが悲しくて。なんとか賑わいを取り戻せないかという思いが、ずーと頭に残りました」そんな時、一緒に街おこしをしないかと石巻の街づくりを携わる会社から声がかかった。仙台のジャズフェスティバルのすばらしさを痛感し、すぐに音楽を通じた街おこしのプランを提案したという。



【川開きに続く風物詩、トリコローレ音楽祭！】約一年後の2004年10月3日には、石巻エリアで初となる街頭音楽祭を開催。タイトルは、音楽があふれるイタリアの街をイメージし、緑、白、赤の三色旗を意味するイタリア語「Tricolore（トリコローレ）」に決定した。石巻での三要素は、「人」「海」「音楽」。未来に向けて守るべき海（自然）と心を潤す音楽、それらを愛する世界中の人々……そんな思いが込められている。その後『トリコローレ音楽祭』は順調に出演者を増やしなが

ら、夏の風物詩として定着。石巻最大の川開き祭りが終わると、一気に寂しくなる街なかを今度は広い世代の音楽家たちが、盛り上げてくれるようになった。

【中止か開催か。決断を迫られた2011年】

東日本大震災では、実行委員のメンバーも被災し、常連バンドの中には亡くなった人もいた。「この年に開催しようなんて、考えもありませんでした」それでも、同年九月の開催が実現したのは、強く背



中を押してくれる人たちがいたからだという。三月に震災がおき、六月にはもう、仙台のジャズフェスの実行委員メンバーがやってきて、『石巻の人たちが今年も音楽祭を開催するならば、全力でバックアップする』と言われたんです。その時石巻の街は、まだ泥と瓦礫だらけ。

物が腐ってハエが飛びまわる中、手ではらつて会議をしたのが印象的だった。しかし、石巻陣としては悩みに悩まざるをえなかった。自分たちの家や会社も被災し、多くの人が亡くなったこの街で「音楽なんて遊び事を」やっている場合だろうか…。

数人の実行委員で、何度も話し合ったという。「そのうちに、こんな時こそやつたほうがいいのではという声が大きくなってきました。人の心を癒し、楽しませる音楽は、きっと街のカンフル剤になる。万が一、批判を受けたら、自分たちで責任をとればいいじゃないかと、数名で腹を括って、開催を決めたのです」思い切つて開催を発表してみると、さまざまな方面から寄付金が集まった。出演を希望したバンドは実に六十以上！蓋を開けてみれば批判どころか「よくやってくれた」という声が圧倒的だったのだ。

【音楽の醸成とかつての賑わいを目指して】毎年募集する出演バンドには、一応のデモテープ審査があるが、「なるべく多くの人が出演できるように配慮している」という実行委員会。そこには、音楽が好きな地元若者たちを応援し、石巻の活気を取り戻したい、という熱い思いが込められている。今年、2016年の『トリコローレ音楽祭』には、過去最多の一五八バンドが出演。中瀬公園をメインに『橋通りCOMMON』や『アイトピアホール』その他パキングエリアなど、石巻駅から徒歩圏内の十四会場で、生演奏が一日中、披露される予定。



今年のトリコローレ音楽祭
実施日 H28.8.28
場所 中瀬公園メイン会場

編集後記

今年六年振りの総会で、参加者からは感謝され、同窓会本部から注目されて大いに活気づきました。これを機に益々活発な会にして参りたいと思っております。

FacebookのURL

<https://www.facebook.com/shinidaho/>

編集責任者「阿部忠允」